

## つるがしま里山サポートクラブ 活動報告書（令和6年度）2025

活動日時	月	日	曜日	開始	終了	場所	会員参加数
	2	15	度	10:00	11:30	高倉市有地	8名
活動名称	高倉市有地 植樹活動					報告者：吉井 優	

### 1、活動目的

一昨年秋から、里山クラブでの植樹活動を太田ヶ谷の森から高倉の森の市有地に替えている。イオン財団の助成により、森の象徴となるモミの木と、里山の恵みを楽しみながら食べられる樹木（キイチゴ、ヤマモモ、スタジイなど）を購入し、植樹をすることとした。

### 2、活動内容ほか

10時にスタッフが集合し、現場確認を行った。北側の篠竹を刈り取り、植樹空間を広げ、スタジイを2本植樹した。ヤマモモは一昨年植えたヤマモモが枯れた場所に1本植え替えた。

キイチゴ19本は、30cmほどの幼木であり、メインの植樹地では、雑草に紛れて生存が難しいため、日当たりが良く、管理しやすい川側にまとめて植え、1mを超えるまで育て、メインの植樹地に植え替えることとする。

なお、高倉作業終了後、逆さ木倉庫に移動し、倉庫広場の有効利用と電線接触対策のため、杉・檜の大木伐採について、伐採の専門家と検討し、3月に実施をきめた。

### 3、評価：

今回の植樹活動は、想定通り終了した。

現場は、元残材処理場だったこともあり、土壌が周りの樹林地のような腐葉土とは、違っている。一昨年植えた樹木も数本枯れてしまった。元気よく生き延びた樹木もあるため、今回植えた樹木については、元気に育てほしい。

### 4、課題

植樹会場の高倉の森の市有地は、穴があいていたり、段差があったりと、他の市民の森同様に扱うのには、まだまだ整備活動が必要です。里山クラブ創立時の活動地である高倉市民の森とは、異なってしまいましたが、里山環境の活動地として、十分な広さがあるため、市とも協議して、我々の活動地として、有効利用できるよう、取り組んでいきたい

### <里山参加会員>

小嶋、石樽、小澤邦、小沼、牛島、柳川、金、吉井（撮影）



<活動写真>

